

ulog_マニュアル

1. ulogとは

ulogとはC#, VisualBasicなどからファイルログを簡単に出力することができるライブラリである。
対象とする環境は.NET Framework 2.0 (Visual Studio 2005) とする。

2. 機能概要

ulogは、以下の機能を持つ。

- ・ログ出力先の指定
- ・ログファイル名の指定
- ・ログ書式の指定
- ・ログの出力
 - ・デバッグログ
 - ・情報ログ
 - ・開始ログ
 - ・終了ログ
 - ・警告ログ
 - ・エラーログ

3. ログへの出力内容

ログへの出力内容は以下のとおりであり、必要なものを選択することが可能である。

- ・システム日時
- ・ログ種別
- ・IPアドレス
- ・ユーザ名
- ・プロセス名
- ・クラス名
- ・メソッド名
- ・メッセージ

ulog_マニュアル

4. 指定可能なプロパティ

指定可能なプロパティを以下に示す。

■指定可能なプロパティ				
No.	名称	型	指定内容	備考
1	LogPath	String	ログファイルパス	必須
2	LogFileName	String	ログファイル名	必須
3	ProcessName	String	プロセス名	セットしないときは自プロセス名を自動セット
4	IpAddr	String	IPアドレス	セットしないときはローカルホスト名を自動セット
5	UserName	String	ユーザ名	セットしないときは認証ユーザ名を自動セット
6	Format	String	ログ出力書式	ログ出力書式
7	Message	String	ログクラスからのメッセージ	ログクラスからのメッセージ(取得のみ)

5. 使用可能なメソッド

使用可能なメソッドを以下に示す。

■使用可能なメソッド				
No.	返り値	名称	引数	用途
1	Int32	PutFatal	String message	重大エラー
2	Int32	PutError	Exception	例外エラー
3	Int32	PutError	String message	エラー
4	Int32	PutWarning	String message	警告
5	Int32	PutInformation	String message	情報
6	Int32	PutDebug	String message	デバッグ

ulog_マニュアル

6. ログ書式で指定可能なログ出力内容

ログ書式で指定可能なログ出力内容を以下に示す。

■ログ書式で指定可能なログ出力内容		
No.	書式指定	内容
1	%DateTime%	システム日時
2	%LogKind%	ログ種別
3	%IP_ADDR%	IPアドレス
4	%USER_NAME%	ユーザ名
5	%PROCESS_NAME%	プロセス名
6	%CLASS_NAME%	クラス名
7	%METHOD_NAME%	メソッド名
8	%MESSAGE%	メッセージまたは、スタックトレース

7. 呼び出し例

呼び出し例を以下に示す

```
Log log = new Log();
log.LogPath = @"C:\log";
log.LogFileName = "testUlog.log";
log.Format = "%DateTime% %LogKind% %ClassName% %MethodName% %Message%";
log.PutStart("開始ログ");
log.PutDebug("デバッグログ");
log.PutInformation("情報ログ");
log.PutWarning("警告ログ");
log.PutError("エラーログ");
log.PutEnd("終了ログ");
```

※使用方法のサンプルとして「testUlog」という名称でプロジェクトを作成してあるので参照されたい。